



こんにちは！株式会社のぐちです！11月です。先日、「オタク用語辞典 大限界」が紹介されました。名古屋短大ゼミ仲間の学生12名が、自分たちの周りで使われているオタク用語約1,600項目を採集し、語釈と用例を付したものだそうです。その内容をちょっとだけ、「キュン死…ときめき[キュンキュン]のあまり心臓が止まってしまうようになること」「草…笑えるほど滑稽で面白いこと。もともと「W」で笑っていることを表現。それが草が生えているように見えるため」実際にオタク用語を日常使用している学生たちのユーモア溢れる“生きた”解説に、こんな楽しい若者がいるなんて世の中まだまだ大丈夫だ！と安心しました…わたしだけ…？
それでは皆さま今月も明るく元気に宜しくお願い致します。

株式会社 **のぐち**



11月の歳時記

「団栗（どんぐり）」



あさの散歩道にどんぐりがいっぱい！ホントにいっぱい落ちています。どんぐりはカシやナラ、カシワなどの果実にあたる部分の総称です。縄文時代はどんぐりを渋抜きして食べていたといわれています。

「どんぐりころころ」という歌がありますが、この「ころころ」が勢力を拡大するためのどんぐりの戦略なのです。植物は自分の勢力を拡大するために様々な特徴や特性を持っています。弾けるように種を飛ばすもの、ふわふわの綿毛で飛んでいくもの、マジックテープのように鳥や獣にくっついて遠くまで運ばれるものなどなど。どんぐりはまるくて転がりやすい形状で、傾斜があればどこまでも転がっていき、やがて発芽します。でも一面に散らばったどんぐりが全部木になることはありません。どんぐりが木に成長するためには日光の量が大きく作用しています。森の中のあまり光の当たらない場所に落ちたどんぐりの芽は残念ながら大きくなれずに枯れてしまいます。加えて、動物たちはどんぐりが大好きなので、日当たりのよい場所に運ばれたどんぐりでも芽が出る前に食べられてしまったりもします。当たり前のように立っている木でも、過酷な環境を生き抜いて、奇跡とも呼べる過程を経てそこに生きているのですね。感動的でしょ！

では皆さま、今月も元気よく笑顔で伺いますので、笑顔でむかえて下さいね。

これいいジャン

便利グッズ研究会からのお知らせ

私たち「便利グッズ研究会」では独断と偏見で選び抜いた便利グッズを皆様にご紹介することを生きがいとしております。ハイ！今回ご紹介するのは、

「ホワイパー紙ケース入り修正テープ」

従来品に比べて、プラスチック使用量を40%削減しました。ミニローラーヘッド採用により、先端の小さなローラーによって、ヘラ式に比べてなめらかな引き心地です。再筆記性に優れた薄さらテープ。再筆記時にペン先で削れにくいテープを採用。ストレスの無いきれいな上書きを実現します。使い終わったら、紙ケース、キャップと本体プラスチックは簡単に分別することが出来ます。箱の柄は4種類。今回限定柄として、イチゴショートケーキ、ショコラオレンジが出ました。箱型なのでペンケースにもスッキリ収まります。いつもの引き心地+エコで「これいいじゃん」ってわけ。ぜひ皆さまも試してみてくださいね。

ポスターカラーグリーン



イチゴショートケーキ



ブルーミント



ショコラオレンジ



標準小売価格 250円(税別)

スタッフ登場

私がお菓子作りが好きなのは皆さんご存知かと思いますが、実は昔から作ってみたいけど、未だに実現出来てないお菓子が一つあります。それは、バケツプリンです。名前からも分かると思いますが、バケツみたいな型で作る超巨大なプリンです。

家庭科の先生にも話を聞き、自分自身の重さで潰れてしまうのでゼラチンを入れる、や水を混ぜると崩れなくなる等をお聞きしました。

一年前のちょうど今頃友人と話が盛り上がりバケツプリンを作る事となりました。

ハウスタリオを予約し、材料を購入し、いざ当日本番となった所で大きな問題が発生しました。スタリオの使用時間は8時間。バケツプリンが固まるのにかかる時間は10時間。泣く泣く普通の大きさのプリンを大量に作ってみなで食べました。

SE・中新井でした。

